

(公財)ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

<http://www.teiju.or.jp/>

2015

11 月号



しまね

いきいきねつと

11

平成 27 年度地域づくり実践講座

4 回連続講座

来年 2 月開講予定 地域づくり実践講座

各回実地研修先団体を募集!

申込〆切
11/10
(火)

地域づくりに日々取り組んでいらっしゃる皆さんを対象とした、現地での「地域づくり実践講座」を企画しました! 現在困っている団体が課題をみんなで一緒に考え、解決の糸口を見つけてみませんか?

東日本の震災復興に深く関わり、厳しい地域課題に取り組んでいる団体から講師をお招きし、直接指導が受けられるチャンスです! この機会にぜひ、手を挙げてください!



4 団体限定!

地域づくり実践講座 開催日時(4回連続)

H28. 2/5・12・19・26(いずれも金曜)

13:30~16:00

対象団体

地域課題の解決や地域活性化に取り組んでいる団体。

これからの活動に活かしていくためのアドバイスを望んでいる団体。
おおむね 20 名以上の参加者を収容可能で、活動している場所に近
所に研修会場が確保可能な団体。

※ 事務局にて分野等を考慮のうえ、4 団体を選定します。(11 月)
採用されない場合もあります。ご了承ください。
候補団体多数の場合選考がありますが、選考に漏れた場合は、
同分野の講座先へ参加をしていただく予定です。

募集テーマ	
1	地域資源を活かしたい!
2	後継者を見つけたい! 育てたい!
3	今後のビジョンを描きたい!
4	チーム力を高めたい!
5	その他、〇〇〇を〇〇たい!

派遣講師

一般社団法人 RCF

藤沢 烈さん/高橋 径子さん(代表/プロジェクトマネージャー)等
2011 年 4 月、震災復興のための調査を行う団体として発足。現在は復興
事業の立案・関係者間の調整を担う「コーディネーター」として活動

費用

無料

■お問い合わせ先

(公財)ふるさと島根定住財団松江事務局(島田朋・内田) お気軽にお問い合わせください。

申込方法はチラシを
ご覧ください。
お待ちしております♪

助成金情報

2016年度 JT NPO 助成事業
～地域コミュニティの再生と活性化にむけて～

期 ～11/20(金)必着

地域と一体となって「地域コミュニティの再生と活性化」に取り組む事業を対象とした助成です。

対 公益性を有し非営利法人であること。2015年9月30日時点で、法人格を有して1年以上の活動実績を有すること。法人の設立目的や活動内容が、政治、宗教、思想に偏っていないこと。2016年4月1日～2017年3月31日に実施を計画している事業であること。反社会的勢力でないこと、または反社会的勢力と密接な交友関係を有する法人でないこと。

金 対象経費：申請事業に関わる事業費及び人件費

限度額：年額最高150万円/件 助成件数：45件程度

問 日本たばこ産業株式会社 CSR推進部 社会貢献室

Tel: 03-5572-4290 Fax: 03-5572-1443

<http://www.jti.co.jp/>

(公財)大阪コミュニティ財団
2016年度助成

期 ～11/30(月)消印有効

対 多分野で社会貢献活動に取り組む団体を対象とした助成です。1年以上の活動実績を有する非営利団体（法人格の有無は問わない）が、2016年4月1日から2017年3月31日までの間に実施を予定している公益に資する事業。

金 助成割合に限度は設けません。

対象経費は、申請事業の実施に直接必要となる経費です。

※分野・基金別の助成総額は下記サイトよりご確認ください。

問 (公財)大阪コミュニティ財団 事務局 担当：山本・勝山・中川

Tel: 06-6944-6260 E-mail: info@osaka-community.or.jp

<http://www.osaka-community.or.jp/>

募集情報

日本政策金融公庫
ソーシャルビジネス支援資金

金 ソーシャルビジネスに取り組むNPO法人を対象とした融資制度です。

①4,800万円(担保を不要とする融資)担保不要・代表者の方のみの保証

※税務申告を2期以上行っている方

②3,000万円(うち運転資金1,500万円)(新創業融資制度)担保・保証人不要

※新たに事業を始める方又は事業開始後で税務申告を2期終えていない方

③7,200万円(うち運転資金4,800万円)担保あり

返済期間：①～③とも設備資金15年以内(特に必要な場合20年以内)

運転資金5年以内(特に必要な場合7年以内)

※利率は用途・返済期間・担保の有無等によって異なるため、下記のHPで
ご確認ください。

問 日本政策金融公庫

Tel: 0120-154-505 <http://www.jfc.go.jp/>

シマネスクくにびき学園
オープンキャンパス

対 平成28年度に入学を希望している方・関心のある方

入学資格：島根県内在住・60歳以上の方

日 東部校(松江)11/6(金)、11/20(金)、12/11(金)、1/19(火)

西部校(浜田)11/6(金)、12/8(火)、12/18(金)1/19(火)

時間はいずれも9:45～12:00 **費** 無料

問 くにびき学園東部校/学園本部 Tel: 0852-32-5981

くにびき学園西部校 Tel: 0855-24-9336

<http://www.fukushi-shimane.or.jp/kunibiki/>

イベント情報

ゼロ弾きのゴーシュ

日 11/15(日)・22(日)

11:00～12:00 14:00～15:00

開場30分前

しいの実シアター開館20周年記念として、宮沢賢治原作の「ゼロ弾きの
ゴーシュ」を公演されています。

費 30歳以上2,000円(当日2,500円)、20～29歳1,500円(当日1,800円)

5～19歳800円(当日1,000円)

場 しいの実シアター(松江市八雲町平原481-1)

問 認定NPO法人あしづえ

Tel: 0852-54-2400 Fax: 0852-54-2411

E-mail: ticket@yitf.org <http://www.yitf.org/>

平成27年度 公益信託しまね

女性ファンド活用セミナー

しまね女性ファンドがわかる!

活用セミナー&相談会

日 11/20(金)13:30～15:30

12/19(土)10:00～12:00

対 女性を中心となって活動している民間の団体やグループ

※これから設立する団体・グループや関心のある方も参加可能

費 無料 **定** 両日共に20名(定員に達し次第〆切)

場 県立男女共同参画センター「あすてらす」3階 研修室

問 (公財)しまね女性センター 事業課 担当：井戸

Tel: 0854-84-5514 Fax: 0854-84-5589

E-mail: asu-11@asuterasu-shimane.or.jp

<http://www.asuterasu-shimane.or.jp/>

「しまねNPO大交流会2015」 開催しました！

テーマ
「つながる！」

10月2日、大田市のサロン・ド・ゆきみーる（認定NPO法人緑と水の連絡会議 事務所）にて、「しまねNPO大交流会2015」を開催しました。NPO法人や自治体、企業合わせて総勢62名の方にご参加いただきました。

今年で2回目の開催となる交流会のテーマは「つながる！」。まずはNPO法人しまねコーポズ 溝部俊也代表理事によるアイスブレイクで、全体が和やかな雰囲気となり、各団体の自己紹介&PRタイムも笑顔を交えながらのものとなりました。

続いて、松江NPOネットワーク 竹田尚子代表、島根NPO連絡協議会 和田譲二幹事から、NPOのネットワークづくりについて事例紹介をしていた後、3会場に分かれて分科会へ。テーマは「NPOでくってく？～定住・生きる力を養う～」「NPOと行政 くうかくわれるか 共にくうか～協働・支援・対立～」「つながってなんぼじゃ！～互いを知る、ネットワーク、異業種連携～」の3つで、各会場とも本音トークが盛り上がり、「もっと話したかった！」という声も多数聞かれました。



真剣に、そしてざっくばらんに話し合った分科会

分科会終了後、島根大学の毎熊浩一准教授をコーディネーターに、各分科会から、参加者の意見をまとめた5～10ヶ条を発表していただきました。最後のまとめでは、参加者から「石見地域を中心としたNPOのネットワークを作りたい」「市内のNPOを訪問して直に知り合いたい」「勉強会を開催したい」といった宣言も飛び出しました。

交流会終了後は同じくサロン・ド・ゆきみーるで懇親会を開催。「茶店ギャラリー野の花」さんの料理を頂きながら皆で盛り上がり、話が弾みました。



笑いの絶えない懇親会となりました

東西に長い島根県、なかなか一堂に集まるのが難しい中で、立場や経験年数が違う人同士が、楽しく真剣に話し合えた貴重な機会でした。今回の「つながり」を一つのきっかけに、皆さんますます活躍していかれることでしょう！



<参加者の声>

- ・NPO、民間企業、行政等混ざって本音で話し合う機会は大変。
- ・興味深い話もあってとても勉強になったが時間が足りなかったと思う。
- ・みなさんの熱量があったのが良かった。

参加者アンケートから



Vol.6

今月のキーワード 「会費の未収金」

平成27年度も折り返し地点という団体も多いのではないのでしょうか。余裕のある今のうちに、年度末の決算処理に向けて確認してみましょう。

Q. 会費の未収金の取扱いはどうしたらいいのでしょうか？

A. 発生主義の原則からすると、会費を未収計上する方が好ましいと考えます。

ただし、実際にその会費を収受できるか否かが不明な場合には、未収計上することで却って財務書類の利用者が混乱すること考えられます。特に賛助会費等、実態が「寄付金」に近い性質のものについては、未収計上しない方が合理的との考え方もあります。

従って、その会費の性質や徴収可能性等を勘案し、①納入の確約ができていない会費、②決算作業中に現に納入された前年分会費、については未収計上した方が合理的でしょう。

なお、未収計上しない場合には現金主義により収益計上することになりますので、前年分の会費であっても当年の収益として計上すれば足りると思えます。

！ セミナーのお知らせ

12/2（水）・3（木） NPO事務局セミナー「NPO会計②実務」 を開催します！

NPO法人の会計、特に決算処理に向けての実務をテーマとしたセミナーを開催します。会計、決算処理についてもっと知りたい！という方、ぜひご参加ください！

【松江会場】12月2日（水）13:00～16:00

松江市民活動センター 201・202 研修室

【浜田会場】12月3日（木）13:00～16:00

いわみびらっと 会議室1・2

*詳細は「島根いきいき広場」HPよりご確認ください。

NPO 虎の巻はこちらからダウンロードできます。
県民活動応援サイト 島根いきいき広場
<https://www.shimane-ikiiki.jp/>

島根で 頑張る人



より多くの人に、ボランティアを

出雲市総合ボランティアセンターは、出雲市の中心地、出雲総合体育館内に事務所を構える。一度入ると、部屋一面の情報誌、チラシ、掲示板の数々に目を奪われる。そんな場所で日々ボランティアのコーディネートを行っているのが、岸幹人さん(52)だ。

出雲市総合ボランティアセンター内の「運営委員会」で、岸さんは運営委員長を務める。そのメンバーには、出雲市内外のボランティア、個人、団体・グループ、NPOなどが所属しており、現在284団体、356人の個人が登録をしている。登録者は、施設内の打合せスペースやコピー機が利用できるほか、年2回開催されている交流会に参加できるなどのメリットがある。施設へは、月に約116団体、857人も利用があるそうだ。岸さんはコーディネーターとして、日々ボランティアセンターを訪れる方々からの様々な問合せ、相談に乗り、少しでも多くの要望



センター内に掲示されているチラシの数々。この掲示の仕方も、ボランティアの方の提案だ。

とボランティアを結びつけられるよう、細かな支援を心掛けている。その結果、昨年度は約500件ものコーディネートを行っている。

なぜこれほどまでに、市民の利用・参加が多いのか。元々出雲市内には、多数のボランティア団体や個人等があり、それぞれで活動を行っていたが、阪神淡路大震災が起きた際に「もし出雲で何か起きたとき、自分達はどう動くのか。ネットワークを作るための中心の場が必要ではないか。」という声があがった。そこで市民が集まり「懇話会」という組織を立上げ、市に対しボランティアセンター設立を提案。そして平成10年11月28日、官設民営で、全てのボランティアが運営に携わる出雲市総合ボランティアセンターが開設された。

岸さんは、ここでボランティアコーディネーターとして活動をする中で、コーディネーターが上手くいった時や、双方から喜びの声が聞けた時などに、やっけてよかったと思うのだという。しかし、「ボランティアへの関心は低いのが現状」と岸さんは指摘する。調査の結果、ボランティアに対し興味を持っている人は60%、その中で実際に行動している人はわずか30%、そして残りの30%は機会が無い、実際の行動にまでは至っていない人達だという。「その3割を、アクションにつなげる為様々な情報提供を行っていきたい」と岸さんは熱く語る。また、長期的には、ボランティアに興味・関心のない4割の人達への働きかけも視野に入れる。

昔は地域の中で成り立っていた助け合いも、今は自分達だけでは回らないことも多い。ボランティアへの価値観や意識を変え、より多くの方たちに関心を持ってもらい、関わってもらう為、岸さんは日々講座やセミナー、情報発信を通し、広く社会に訴えかけている。(Y)



出雲市総合ボランティアセンター ボランティアコーディネーター 岸 幹人さん

1962年、出雲市出身。52才。若い頃にJICAの青年海外協力隊として、タンザニア、ポーランドと二度活動を行ってきた。そこで経験が、岸さんの価値観を変えたのだという。1998年11月に、出雲市総合ボランティアセンター立上げに向けた運営委員の一員となったのをきっかけに、2005年4月ボランティアセンターに入職。現在はボランティアコーディネーター及び運営委員会の運営委員長として活躍中。

団体の主な活動

出雲市総合ボランティアセンターでは、教育機関やコミュニティセンター等へのボランティアへの関心を高める為の研修や、登録団体同士の交流会、防災・災害訓練などを行っている。今年度は企業等との連携にも力を入れている。来月11月21日(土)~28日(土)には「出雲市民ボランティアウィーク2015」を開催予定。センターの開館時間は、午前9時~午後10時。(年末年始は休館)

スタッフ後記

“中国ろうきんNPO寄付システム”及び“NPO立上げ助成金”の募集を開始しました。今年度は募集開始が約1か月早まり、申請〆切は共に12/1(火)です。今年は寄付システム運用開始から10年の節目となりました。また、配分分野も例年に比べて増えております。ろうきんの預金通帳をお持ちの方々からのご寄附から成るこのシステム。多くのNPO法人からのご応募をお待ちしております！(T)

お知らせ しまね地域ポータルサイト「だんだん」は「島根いきいき広場」に移行します！

しまね地域ポータルサイト「だんだん」は、システムの老朽化のため12月15日をもって運営を終了し、県民活動応援サイト「島根いきいき広場」に機能を移行します。「島根いきいき広場」での情報発信には登録が必要となりますので、お早めに確認・登録をお願いします。

[H27. 9. 30現在]

- 県内NPO法人数 275
(内 認定NPO法人数 6、仮認定NPO法人数 0)
- 新設NPO法人数 3 ■解散NPO法人数 0 (H27.9月分)
- しまね社会貢献基金登録団体数 49
- だんだん認証レベル取得団体数 43 (内 レベル2 27)

松江
事務局

〒690-0003
松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: shimane@teiju.or.jp

〒697-0034
浜田市相生町1391-8 シティパルク浜田2階
石見産業支援センター「いわみぶらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

石見
事務所